

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム「櫻(けやき)並木の家族」

目標達成計画

作成日：平成 21 年 8 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	トイレで排泄が困難な利用者は、居室にポータブルを置き、個別の排泄支援をしているが、誘導の声が大きかったり、居室入り口が開放されたまま、対応している時がある。全職員がプライバシーを守れるようにしなければならない。	居室での排泄介助時など、全職員がプライバシーを守り、利用者本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアを心がける。	全職員に対して、プライバシーを考慮した排泄介助の再認識と再教育。	1ヶ月
2	6	居室には鍵がなく自由に出入りできるが、玄関ドアを出てすぐに階段がある為、安全性を考慮して、オートロックになっている。何とか玄関を施錠せずには暮らせないか。	鍵をかけない暮らしの大切さについて認識する。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所の中で実施し、職員の共有認識を図る。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。